

PAC定演109

# 「皇帝」&「英雄」 クルス×ゲルバー

Bruno Leonardo  
Gelber, Piano

Hyogo Performing Arts Center Orchestra

Claudio Cruz, Conductor

〈オール・ベートーヴェン・プログラム〉

序曲「コリオラン」ハ短調 op.62

Coriolan Overture in C minor, op.62

交響曲 第3番 変ホ長調 op.55 「英雄」

Symphony No. 3 in E flat major, op. 55, "Eroica"

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」

Piano concerto No.5 in E flat major, op. 73, "Emperor"

指揮：クラウディオ・クルス

ピアノ：ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー

管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団

## 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第109回定期演奏会

2018 10/19(金)・20(土)・21(日) 3:00pm開演 (2:15pm開場)

A席4,000円 B席3,000円 C席2,000円 D席1,000円 (全席指定・税込)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口ログ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 10:00am-5:00pm (月曜休※祝日の場合翌日)

一般発売

6/17日

チケット予約

- 芸術文化センター 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp>
- イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&携帯)
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 112-525] <http://pia.jp/t/>
- ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応)、0570-084-005 [Lコード 56730] <http://l-tike.com>

芸術文化センター  
会員先行予約受付開始

6/15日

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター  
[6/19(火)より、残席がある場合のみ]  
ローソン、サンクス、ファミリーマート  
セブンイレブン、サークルK、ミニストップ

※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。  
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

◎主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人 日本芸術文化振興会

HYOGO 150th Anniversary

兵庫県立 芸術文化センター

文化力 POWER OF CULTURE



## 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第109回定期演奏会

第109回定期でお届けするのは、ベートーヴェンが「傑作の森」と呼ばれる中期の充実した時代に書き上げた「英雄」と「皇帝」を堪能する、豪華なプログラム。

フランス革命後に着手され、当初はナポレオンに献呈するつもりだったといわれる交響曲第3番「英雄」は、その名の通り、力強く凛々しい曲想を持つ名曲です。

一方、ピアノ協奏曲第5番は、気高く壮麗なイメージからつけられた「皇帝」の愛称の通り、きらめくピアノとオーケストラが掛け合いを繰り広げる作品。アルゼンチン生まれ、デビュー以来トップピアニストとして輝き続け、日本デビュー50周年を迎えるブルーノ＝レオナルド・ゲルバーがソリストを務めます。円熟のピアニズムを、得意のレパートリーで存分に披露してくれることでしょう。

タクトを振るのは、PAC定期6年ぶりの登場となるクラウディオ・クルス。ブラジルに生まれ、ヴァイオリニストとして活躍したのち指揮者となった名匠です。

南米が生んだ二人が若きPACとともに、ベートーヴェンの名曲で熱い音楽を響かせます。



### 指揮: クラウディオ・クルス

Claudio Cruz, Conductor

サンパウロ・ユースオーケストラの音楽監督、ブラジル伝統音楽祭「クリティバ音楽ワークショップ」芸術監督、カルロス・ゴメス弦楽四重奏団の第一ヴァイオリン奏者。弦楽器製作者であった父の手ほどきを受けてヴァイオリンを学び始め、その後マリア・ヴィシュニア(カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール優勝者)などからヴァイオリンを、オリヴィエ・トニから理論と指揮法を学んだ。数々のコンクールで優勝を果たした後、ソリスト、室内楽奏者として活躍、また、サンパウロ交響楽団のコンサートマスターを23年間務めた。同時にオーケストラの指揮も活発に行い、これまでにブラジル国内のオーケストラはもとより、トゥールーズ室内管弦楽団、アヴィニョン交響楽団、ノーザン・シンフォニア(イングランド)、シンフォニア・ヴァルソヴィア、フォクトラント・フィルハーモニー管弦楽団(ドイツ)、エルサレム交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、新日本フィル、広響、名古屋フィルなどを指揮している。サンパウロ・ユースオーケストラとは2012、13年にドイツ、2014年にフランスとオランダ、2015年にはニューヨーク、ワシントンに招かれ絶賛を博した。



### ピアノ: ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー

Bruno Leonardo Gelber, Piano

オーストリア、フランス、イタリアの血を引く音楽家の両親のもとアルゼンチンに生まれる。3歳半のとき母からピアノの手ほどきを受け、5歳でアルゼンチンでの初めての演奏会を行う。6歳でヴィンチェンツォ・スカラムツァに師事。翌年ゲルバーは重い小児麻痺にかかり、1年以上寝たきりの生活を送ったが、両親はベッドの上でも弾けるようにピアノを改造、ゲルバー少年は練習を続けた。15歳の時、マゼール指揮の下、シューマンの協奏曲を演奏。19歳でフランス政府の奨学金を得てパリに留学。演奏を聴いたマルグリット・ロンは「あなたは私の最後の、しかし最高の生徒になるでしょう」と語り、1961年のロン＝ティボー国際コンクール第3位入賞時には、彼こそ優勝にふさわしいとする聴衆とマスコミの間で大いに物議を醸した。以後、ゲルバーはカーネギーホールやザルツブルクなどの音楽祭でのリサイタルやチェリビダッケ、デュトワ、ロストロポーヴィチなど著名な指揮者とベルリン・フィル、パリ管、ニューヨーク・フィル、NHK響などの共演と華やかな活動を繰り広げている。また、レコーディングも世界的に高い評価を得ており、デンオンに録音したベートーヴェンのソナタのうち、最初のものはニューヨーク・タイムズ紙の89年最優秀録音のひとつに選ばれている。



### 兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。通称PAC(パック)オーケストラ。 [http:// hpac-orc.jp](http://hpac-orc.jp)



<http://www.gcenter-hyogo.jp>  
**兵庫県立芸術文化センター**  
 Hyogo Performing Arts Center

**先行予約会員募集中!**  
 詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

### 便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも  
 ホールまで15分  
 (阪急電車特急乗車の場合)

- ◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
  - ◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
- ※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

